

第46回 熊野駅伝大会 出場チーム募集



昨年の様子

とき 2月10日(日) 9:30スタート
ところ 熊野町民グラウンド発着による町内一円

区間	中継所	距離	中学生の部
第1区	スタート 熊野町民グラウンド正門	2.5K あいおい保険先を直進	男子
第2区	第1中継所 熊野町役場職員駐車場	2.3K 世良電器前左折	女子
第3区	第2中継所 くまのみらい交流館	1.3K	男子
第4区	第3中継所 熊野町民グラウンド駐車場	2.5K あいおい保険先を直進	男子
第5区	第4中継所 熊野町役場職員駐車場	2.3K	男子
第6区	第5中継所 くまのみらい交流館	1.3K	女子
ゴール 熊野町民グラウンド正門			
総距離			12.2K

対町内在住者、町内事業所に勤務している人、町内の学校在学者、保護者、町内の学校卒業者

※年齢は大会当日の満年齢 ※中学生の部については県内の学校も可

▶チームメンバー…監督1人、選手6人、補員3人まで

※同一団体で2チーム以上出場の場合は補員5人まで

▶各部門チーム構成

【子ども会の部】原則子ども会単位で構成

※子ども会単位で1チームも組めない場合は、他の子ども会との合同で構成可

※小学4～6年生(男女制限なし) ※単位子ども会での出場数は制限しない

【一般の部1部】中学生以上で構成

【一般の部2部】全員30歳以上の男子で構成、女子(小学校4年生以上)と男子(30歳以上)の混成

【女子の部】全員が小学4年生以上の女子で構成 ※参加チームが少ない場合は一般2部とする。

【中学生の部】県内の各中学校単位で構成、町内の中学生で構成(両中学校の混成チーム可)

選手男子4人、女子2人、監督1人、補員3人までで構成

¥3,000円/チーム

甲申込書(町民体育館にて配布)参加費を添えて、1月12日(土)までに町民体育館(熊野駅伝大会事務局)へお申し込みください。

▶お願い…駅伝大会当日は町内道路などで交通混雑が予想されます。通行される皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、大会の趣旨をご理解いただき、開催にご協力くださいますようお願いいたします。

問熊野駅伝大会実行委員会(町民体育館内) ☎854-7695

5 問町民体育館 ☎854・769

定①②③各部20人
申12月13日(木)午前9時
※定員に達した場合は抽選
※健康づくりには運動の継続が大切なことから、平成30年前期の参加者を優先入会。申込み用紙に会費を添えて町民体育館へ提出。

5 問町民体育館 ☎854・769

定25人
申12月10日(月)～15日(土)

体力アップ教室

参加者募集

ストレッチ体操や筋力アップ体操で筋力やバランス力をアップし、介護を必要としない身体づくりをしませんか。

【くまのみらい交流館教室】
時1月10日～3月14日
毎週木曜日
①午前の部：午前9時半～11時半
②午後の部：午後1時半～3時半

「アクティブヨーガ」

参加者募集

アクティブヨーガは、アメリカで大流行しているパワーヨーガをアレンジしたものです。姿勢を支えるための筋肉を刺激し、腰痛や肩こりの緩和や予防にも活用できます。ヨーガ未経験の人や、体力に自信がないという人でも安心してご参加いただけます。

自身の体と向き合いながら、ポーズの基本を楽しく丁寧に行いましょう。
時12月17日～3月18日
毎週月曜日(全10回)
午後7時半～8時半

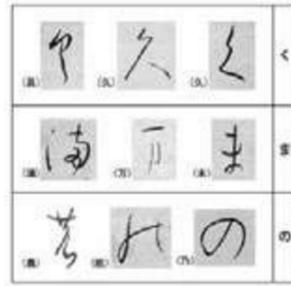
町内在住者および筆の里スポーツクラブ会員
対高校生から40代までの町内在住者および筆の里スポーツクラブ会員
定25人
申12月10日(月)～15日(土)

筆の里工房は施設改修工事のため
11月5日(月)～来年4月末まで休館します。

リニューアル紹介 ②

体験ゾーン「かな判子」

私たちが使っている「ひらがな」は、中国から伝わってきた漢字を元に作られた、日本独自の文字です。平安時代に完成しました。それまで、日本には話す言葉はありましたが、文字がなかったのです。そこで、例えば「あ」と発音する漢字、安、阿、亜、愛、悪…などの読みを自分たちが使っている話し言葉にあてて書いたのです。ですから「あ」を表すのに、数種類の「かな」が使われています。明治33年に、「ひらがな」は一音につき一字と決められました。つまり、「あ」は「安」を崩した一字となり、その他の「あ」は「変体仮名」と区別されています。



同じ音でも色々な漢字を崩して使っています。

「かな判子」コーナーでは「ひらがな」「変体仮名」を判子にしています。自分の名前や好きな言葉を押しみてくたさい。ひらがなだけとは違う、「かな」の多様さに気づけるはずですよ。

熊野町内の全小中学生による
作品鑑賞会



作品に見入る児童

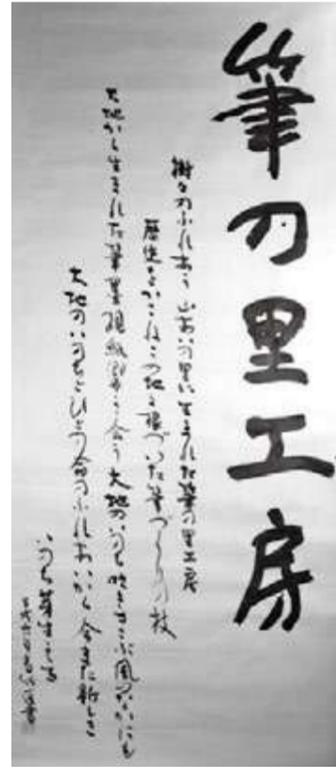
熊野町制施行100周年を記念して開催した特別展「筆が奏でる琳派の美」では、熊野町内の小学校と連携し、全児童生徒約2千人を対象にした作品鑑賞会を行いました。小学生は作品の中に描かれた生きものを探しながら、クイズ形式で鑑賞。中学生は、学芸員の説明を聞きながら作品鑑賞を

しました。また、近隣の幼稚園、保育園の園児も来館し、ふでりと一緒に作品鑑賞をしました。小学五年生、中学一年生は、たらし込み技法や金箔加工の実演の見学、作品を見た感想を発表し合う活動などを、鑑賞教育の一環として行いました。どの年齢の子どもたちも「すごい!!」と言いながら、目をキラ

キラさせていました。今回の展示会は、江戸時代の作品紹介が中心でした。時代を越えて伝わってくる作品の迫力、オーラは、本物を間近で見るとでしか体験できません。当館では、今後も、町内の子どもたちや住民の皆さまに作品鑑賞の機会を提供していきたいと考えています。

■収蔵品紹介■ 筆の里工房設立趣意書 宮本竹逕筆

平成六年、筆の里工房の建設に伴って、広島県福山市出身の作家、宮本竹逕(1912-2002)が揮毫した作品です。当館の玄関ホールには、この設立趣意書が掲げられており、筆の里工房のロゴにも使っている文字です。「自然、筆、人が一体となって豊かな文化を育んでいく…」思いの詰まった作品です。



STOP9 わが家の「ケータイルール」

夜9時以降、テレビゲーム・スマホをやめて、十分な睡眠を取りましょう。毎朝欠かさず朝食を食べ、基本的な生活習慣を身に付けましょう。